

科目名	心と行動 I	科目分類	□専門科目群 (第1グループ)
			■総合科目群 (第2グループ)
英文表記	Mind and Behavior I	開講年次	全 学科
			学科
ふりがな	たきざわ じゅん	開講期間	□必修 ■選択
担当者名	瀧澤 純	修得単位	□必修 □選択
授業のテーマ	心理学の中でも基礎的な部分を学ぶ。		
授業概要	心理学の講義を行う。心理学とオカルトとの違い、人による違いなどを取り上げる。また、情報を受け取る、覚える、学ぶといった行動についても取り上げる。授業の中で、ペアでの意見の共有、グループワーク、心理学の実験や調査の体験を行う。		
到達目標	心理学の基礎的な知識を身につけ、自分や他者をより深く理解できるようになる。また、知識を身につけるだけでなく、その知識を日常生活に応用できるようになる。		
授業時間外の学習	授業計画に書かれた用語について予習し、毎回の復習を行う必要がある。また、テレビや雑誌などで取り上げられる心理学の情報に注目し、嘘や間違いを疑えるようになってほしい。		
履修条件	特にない。		
授業計画			
第1回	心理学とは：心理ゲームや心理占いとの違い、心理学の種類		
第2回	災害に関する心理学：地震における避難行動、避難の基準、噂の伝達		
第3回	情報を受け取る①：五感、知覚と認知の違い、錯覚、網膜上にある盲点		
第4回	情報を受け取る②：主観的輪郭、多義図形、現代人と味覚、相貌失認		
第5回	情報を受け取る③：知覚の法則、加齢による影響、スポーツ経験による影響、時間知覚		
第6回	覚える① 記憶の奥義：記銘、保持、想起、記憶術、記憶におけるプライミング効果		
第7回	覚える② もの忘れ：感覚記憶、短期記憶、長期記憶、作業記憶、チャンク、忘却曲線		
第8回	覚える③ 犯罪を目撃したときの記憶：手続き的記憶と宣言的記憶、虚記憶、事後情報効果		
第9回	学ぶ①：学習の定義、技能の学習、観察学習		
第10回	学ぶ②：道具的条件付け、シェイピング、古典的条件付け、行動療法		
第11回	学ぶ③：やる気、欲求、感覚遮断実験、欲求不満 (フラストレーション)、葛藤		
第12回	人による違いをとらえる① 知能：知能指数 (IQ)、問題解決能力、人工知能		
第13回	人による違いをとらえる② 性格：性格、人格、気質、パーソナリティ、血液型と性格		
第14回	人による違いをとらえる③ 健康：人づきあいと寿命、脳トレ、気分の落ち込みと栄養		
第15回	人による違いをとらえる④ 心の病：精神障害の種類、アセスメント、リフレーミング		
第16回	定期試験		
テキスト	使用しない。授業中に資料を配布する。		
参考文献・資料	重野 純 (編) 『キーワードコレクション心理学 改訂版』 (新曜社, 2012年) 箱田 裕司ほか 『認知心理学 (New Liberal Arts Selection)』 (有斐閣, 2010年)		
成績評価の方法	平常点 (授業態度、提出用プリント) を 40%、期末試験を 60%として評価する。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	① 毎週月曜 13:00~14:30 ②毎週金曜 13:00~14:30		

学生への メッセージ	授業の計画および授業の内容は状況に応じて変更することがあります。授業中に変更のお知らせをします ので、授業へ積極的に参加してください。
---------------	--